様式３（2020.08改）

作成日　令和２年　９月　５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372000980
事業所名	グループホーム青葉の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	ボランティアからは「いつからできる？」と問い合わせが入っており、事業所でも再開を心待ちにしています。また、自治会長の交代では、新会長から「運営推進会議の趣旨がよく判らない」といった苦言があがり、民生委員の協力も得て今では円満なつきあいに至っており、事業所としては説明不足を大いに反省、今後の糧としています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	3月、5月の運営推進会議はインターネットなどで方法を模索し、書面開催（毎月の活動報告をメンバーに送付）としました。終息となった7月には再開でき、「久しぶりだね～」と笑顔で近況を話し合ったのもつかの間、9月の開催を迷う状況となっていて、集まらなくても内容に過不足ないような方法が求められています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	インターネットで調べる等して運営推進会議の書面開催は取り決め、議事録はこれまで通り市役所窓口に届けています。東三河広域連合では最近は郵送ではなくメール配信が主となり、事業所としても今年3月の指定更新で出向いたきりですが、電話でやりとり確認ができています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会自粛で玄関先での逢瀬となり、おやつの差し入れも「一諸に食べたいのに…できないなら」と、足が遠のいた家族もいます。家族は総じて「お任せします」と介入が少なく、食事は5月からタッパーで届くようになったことも特段意見はなく了解を得ています。2ヶ月に1度の便りにはコロナ報告をおこない、6月には1度写真を添えて元気なことを伝えています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										